


×


## 「予約型乗合交通」の実証運行を開始しました

期間：10月2日～令和6年3月31日

10月2日から町営バスを運行していた桑飼地域と野田川地域において、予約型乗合交通に切り替えて運行を開始しました。SWAT Mobility Japan 株式会社のアプリを活用して予約（電話予約も可能）、配車を行います。

- 運行エリア／運行主体**

桑飼地域  
／桑飼地域支え合い交通運営協議会  
野田川地域（岩屋・市場、山田、石川）  
／日本交通株式会社  
※ 乗降場所設置箇所総数…約180カ所
- 運行時間と運休日**

午前9時～午後5時  
【運休日】日曜日、祝日  
12月30日～翌年1月3日
- 運賃（片道）**

大人300円 小人150円  
※ 現金または回数券
- 利用方法**

【電話で予約／午前9時～午後5時】  
☎ 050-1808-4384  
【スマートフォンアプリで予約】




よさの乗合交通のアイコン  
<予約期間>  
・野田川地域／1週間前～  
　　当日ダイヤの1時間前  
・桑飼地域／1週間前～前日まで

問 企画財政課 ☎ 43-9015

（SWAT Mobility Japan 株式会社  
日本法人末廣代表取締役）

乗合交通の核は、いかに少ない車両台数でいかに多くの人を効率的に送迎できるかです。利用者は、「乗客アプリケーション」で予約をしますが、今回は電話予約も可能です。利用者のデータを蓄積・分析して、誰がどのように動いているのか、また、どのような移動需要があるのか

人口減少社会や少子高齢化の進展を見据えた新たな公共交通モデルとは

【テーマ③／みらい】

行政として、これまでから公共交通を維持していくために公的支出をしています。一方で、事業者の皆さんとともに住民の皆さんや観光客が求めるニーズを掘り起こすことも重要です。引き続き一緒に調査や取り組みを行っていきたいと思います。

いました。人材確保に向けて努力をしているけれども、確保ができない状況であると思いますが、働く方の雇用環境がより魅力的なものになるということ、条件の一つとしてあると考えます。



パネリストの意見にコメントする山添町長（右）

## 10月2日から新たに予約型乗合交通の実証運行を開始

（桑飼地区支え合い交通運営協議会  
西村会長）

桑飼地区では、3区長（温江区・明石区・香河区）と同地区内の交通課題の整理と共有を行いました。

- 町営バスは大変ありがたいが、便数が少なく使いにくい
- もう少し機動力のある交通体系を構築してほしい

● 今の交通形態では車がないと生きないため、高齢になつても免許の返納ができない

このように、与謝野町地域公共交通会議において、交通事業者の皆

交通事業者が厳しいのであれば、地域でカバーしないと公共交通を持続可能なものにはできない。



桑飼地域を走行している車両

10月2日はあくまでもスタート。常に改善を繰り返し、全国でも優良事例になるよう支援していきたい。

きな展望になると思っています。

弊社が一番にやりたいことは、とにかく「PDCA※」をまわしていくことです。収集したデータをもとに日々の改善に加え、皆さんからフィードバックをいただき、データで見えない部分を補足します。最初から完璧なサービスはできないと思つておらず、どんどん良くしていくものだと考えています。

人口減少が続く地域では、車両を可視化していきます。

いかに有効活用して、さまざまな需要を極力満たせるような仕組みが必要です。まずは高齢者の方が利用者になるかと思いますが、少しづつ若い年代の方や観光客の方にも使つていただけるような仕組みが将来的には必要になると思っています。

また、消費地や医療との連携は絶対です。例えば、病院にタブレットを設置し、すぐに移動手段が呼べるような連携などは、将来の一つの大

（町長） 移動する大きな目的は「買い物」と「医療」です。買い物という点においては、ウイルさんにご理解をいただきながら、さまざまな交通の結節点としてその存在感を發揮していただいています。もう一つの柱である医療という点について、引き続き議論を深めていかなければなりません」とを考えています。

（町長） 移動する大きな目的は「買い物」と「医療」です。買い物とい

う点においては、ウイルさんにご理解をいただきながら、さまざまな交通の結節点としてその存在感を發揮していただいています。もう一つの柱である医療という点について、引き続き議論を深めていかなければなりません」と考えています。

（町長） 移動する大きな目的は「買

う物」と「医療」です。買い物とい

う点においては、ウイルさんにご理

解をいただきながら、さまざまな交

通の結節点としてその存在感を發揮

していただいています。もう一つの

柱である医療という点について、引

き続き議論を深めていかなければな

く、来られたお客様を送る手段や、逆に曜日を決めてお客様を迎える

くようなことなど、さまざまのこと

を考えていかなければならぬ立場になつていくと思います。

業者としてはもうけるだけではなく、来られたお客様を送る手段や、逆に曜日を決めてお客様を迎える

くのようなことなど、さまざまのこと

を考えていかなければならぬ立場になつていくと思います。

業者としてはもうけるだけではなく、来られたお客様を送る手段や、逆に曜日を決めてお客様を迎える

くのようなことなど、さまざまのこと